



# SOFTIGEN<sup>®</sup> 701 ECO

- ❖ 加脂効果
- ❖ 界面活性効果
- ❖ 皮膚保護効果

販売代理店

**W 綿半トレーディング株式会社**

〒160-0004 東京都新宿区四谷1-4

TEL:03-3353-2303 FAX: 03-3353-2545



IOI OLEOCHEMICAL



INCI名 : Glyceryl Ricinoleate (and) Tocopherol  
化粧品表示名称 : リシノレイン酸グリセリル、トコフェロール  
外原規 : リシノレイン酸グリセリル  
中国INCI名 : 甘油蓖麻醇酸酯

## 1. 製品紹介

SOFTIGEN® 701 ECOはリシノレイン酸の部分グリセリドのブレンドから成る多機能原料です。

## 2. メーカー参考規格値 (販売規格は外原規になります)

項目	規格値	単位
酸価	max. 3	mg KOH / g
けん化価	155 – 170	mg KOH / g
ヨウ素価	70 – 80	G I / 100g
ヨウ素色数	max. 6	mg I / 100 ml
モノグリセリド	>40	%

## 3. 特長

SOFTIGEN® 701 ECO の稠度は液体からペースト状であり、温度により不溶性の結晶が発生します。白色から淡黄色の外観で、温度30-35°Cでは500 – 600 mPasの粘度の透明な液体になります。

SOFTIGEN® 701 ECO は油と脂に混和します。また容易にエタノール、ジエチルエーテル、そして水に分散します。

ファンデルワールスカはグリセリルヒドロキシ基と12-ヒドロキシ-cis-9-オクタデセン酸(リシノール酸)に基づきます。

100 %植物由来であるため、SOFTIGEN® 701 ECO は重金属、触媒残留物、及び溶剤フリーの原料となります。製品はトコフェロールにより安定化されます。トコフェロールの配合量は水の成分に対し、0.5%以下です。

## 4. 化粧品における機能

界面活性剤(乳化剤、補助乳化剤)、加脂剤、分散剤としての機能を有します。  
最も主要な機能は皮膚保護効果です。



IOI OLEOCHEMICAL

 綿半トレーディング株式会社



SOFTIGEN® 701 ECO の皮膚保護効果は遊離ヒドロキシル基に起因し、モノグリセリドとジグリセリドの遊離ヒドロキシル基により界面活性のある原料になります。W/Oエマルションでは乳化剤として機能し、O/Wエマルションでは乳化助剤として機能します。

SOFTIGEN® 701 ECO は肌と粘膜に刺激を与えません。刺激物質による皮膚反応を減少させるため、製品は皮膚保護剤としてご使用頂けます。また、SOFTIGEN® 701 ECOは親水性の部分(肌荒れ)に吸着するため、有害物質に対する保護効果も期待できます。

SOFTIGEN® 701 ECO はスキンケアの処方ほとんどすべてに応用できます。クリーム、ローション、バスオイル、シェービング用品、石鹼の加脂剤、そしてシャワー製品への推奨使用濃度は2 – 10 %です。

長い化粧品業界での使用と皮膚試験において、刺激性は確認されておりません。

SOFTIGEN® 701 ECO のアプリケーション

- ❖ デオドラント
- ❖ スキンケア
- ❖ リップスティック
- ❖ ボディケア
- ❖ サンケア
- ❖ 目元製品



IOI OLEOCHEMICAL

**W** 綿半トレーディング株式会社



## 5. 処方例 転相乳化O/Wエマルジョン

相	製品名	表示名称	%
A相	IMWITOR® 375 <sup>1</sup>	(クエン酸/乳酸/リノール酸/オレイン酸)グリセリル	3.00
	IMWITOR® 600 <sup>1</sup>	ポリリシノレイン酸ポリグリセリル-3	1.00
	MIGLYOL® 818 <sup>1</sup>	トリ(カプリル酸/カプリン酸/リノール酸)グリセリル	5.00
	MIGLYOL® 812 N <sup>1</sup>	トリ(カプリル酸/カプリン酸)グリセリル	4.50
	NAFOL® 1618 HP <sup>2</sup>	セテアリルアルコール	3.00
	SOFTIGEN® 701 ECO <sup>1</sup>	リシノレイン酸グリセリル	1.50
	SOFTISAN® 649 <sup>1</sup>	ビスジグリセリルポリアシルアジペート-2	2.00
	SOFTISAN® 142 <sup>1</sup>	水添ココグリセリル	3.00
	Sunflower Oil	ヒマワリ種子油	6.00
	Cetiol MM <sup>2</sup>	ミリスチン酸ミリスチル	1.00
Bees Wax	ミツロウ	0.50	
B相	Natrosol Plus 330 CS <sup>3</sup>	セチルヒドロキシエチルセルロース	
	Glycerin 99.5	グリセリン	0.45
	Preservatives		6.00
	Demin. Aqua	水	q.s.
C相	Tocopherol	トコフェロール	0.50
	Fragrance	香水	q.s.
D相	Sodium Hydroxide 10% in water	水酸化Na	q.s.

### 手順:

1. A相とB相を別々に75-80°Cに加熱する。
2. B相にA相を攪拌しながら加え、ホモキサーにかける。
3. A/B相30°Cになるまで優しく攪拌しながら冷ます。
4. C相をエマルジョンに加える。
5. D相でpH値を6.0-6.5に調整する。

### サプライヤー情報:

<sup>1</sup>IOI Oleo GmbH

<sup>2</sup>BASF AG

<sup>3</sup>Aqualon

### 保管上の注意

密封された商品の推奨保管方法: 未開封製品の長期貯蔵は、25°C以下で湿度のない乾燥した、直射日光の当たらない場所で行う。

この情報および技術情報はすべてのグループ会社を含むIOI Oleo GmbHの誠意により提供され、現在の技術知識に基づいて正確であるとする。また、この資料はIOI Oleo GmbHがその完全性や正確性を保証するものではありません。この情報は使用者が使用前に目的との適合性を判断する条件の元で提供されます。法的適応下である限り、IOI Oleo GmbHはこの情報の使用あるいは信用に基づき発生するいかなる損害に対して責任を負わないものとする。IOI Oleo GmbHは技術進歩に伴い、独自の裁量で情報を変更する権利を有するものとする。この情報はIOI Oleo GmbHが直接的または暗示的に製品が商業的である、あるいは特定の目的に対し有益であると示唆及び保障するものではなく、またこの資料における製品は他社の知的財産権を侵害せずに使用出来得ると保障するものでもありません。この資料における情報は公式販売規約&条件の一部に相当するものではありません。この情報はIOI Oleo GmbHが直接的または暗示的に製品が商業的である、あるいは特定の目的に対し有益であると示唆及び保障するものではなく、またこの資料における製品は他社の知的財産権を侵害せずに使用出来得ると保障するものでもありません。この資料における情報は公式販売規約&条件の一部に相当するものではありません。



IOI OLEOCHEMICAL

**綿半トレーディング株式会社**